鶴の架け橋交流

青森県・鹿児島県鶴田町

お互いの町を訪問し交流を深める

この夏、姉妹都市の青森県鶴田町と本町の子供たちの相互交流や、本町の「鶴凧（つるたこ）の会」の青森県訪問が行われるなど、盛んに交流が行われました。両町とも合併が進展し、鶴田町の名前が消える見込みですが、この交流がこれからも続いていくように願うものです。

ここに、その交流の概要をお知らせします。

未来の翼２００４

ふるさと学寮「わかあゆ塾」

未来の翼２００４ふるさと学寮「わかあゆ塾」が、８月５日（木）～８日（日）の４日間開催されました。これは、青少年が家庭を離れ、異年齢集団宿泊をし、自然体験・生活体験・社会体験を通して、自主性・主体性・忍耐性を培い、感謝や思いやりの心を育てることを目的に毎年開催されているもので、本町の小学生・中学生28人が参加しました。

また今回この事業に青森県鶴田町の小学生21人、中学生14人、高校生６人、スタッフ10人の合計51人が参加しました。

はじめに、中央公民館で歓迎式が行われ、青森県鶴田町の参加者を受け入れるホームスティ先の保護者も参加し、盛大に歓迎式が行われました。

式では、青森県鶴田町参加者を代表して小野千秋さんが「交流の中で多くのことを学びたいです。」とあいさつしました。

２日目は、鶴田ダムの見学やドラゴンボートの体験試乗をし、青森県の子どもたちは、ドラゴンボートを漕ぐのが初めてとあってなかなか前に進まないようでした。

ドラゴンボートに挑戦

３日目は、紫尾のキャンプ場で両町の子どもたちがいっしょにキャンプをし、さつま揚げ作りの体験をしたりして最後の夜を楽しみました。

参加した子供たちは、この４日間ですっかり打ち解け、たくさんの友だちができ意義深い交流ができたようです。

青森の郷土芸能も披露されました

鶴凧の会

鶴凧揚（あ）げ大会に参加

本町鶴凧の会会員が、８月14日（土）から16日（月）青森県鶴田町を訪問しました。

これは、８月15日（日）行われた青森県鶴田町の鶴凧あげ大会にあわせて訪問したもので、会員は、それぞれ自分で作った「鶴凧」を持って大会に参加しました。

また、平面鶴凧の作り方の講習を受けるなど青森県鶴田町の鶴凧の会と交流を深めました。

本町鶴凧の会は、平成13年に結成され、現在会員は18人。毎年、鶴凧製作講習会の開催や町民祭への展示、鶴凧あげ大会の開催などの活動をされています。

凧揚げに参加しました

鶴田ワイルドボアーズ

青森県鶴田町のチームと交流

本町の少年野球チーム「鶴田ワイルドボアーズ」と父母合わせて28人が８月７日（土）青森県鶴田町を訪問し、地元の胡桃館（くるみだて）小学校野球部とその他の小学校の混成チームと親善試合を行いました。

試合は、鶴田ワイルドボアーズも健闘しましたが、２試合とも青森県鶴田町のチームが勝利しました。山下光男監督は、「互いの町名がなくなる前に念願だった試合ができてよかった。」と話していました。また、キャプテンの鉢迫勇一郎君は、「前から試合をするのが楽しみだった。相手は、すごく強かった。」と感想を話しました。

記念のメダルをかけてもらう児童

これから試合が始まります